

乳幼児の家電製品による高温蒸気のやけどに気を付けて

乳幼児のやけどは大人に比べて、重症になる恐れがあります。

(1) 炊飯器をキッチン内の高さ 60～70 センチの引き出しの上に置いていた。普段はキッチンに柵をしているが開いていた。泣き声で気づくと1歳2か月の男児が炊飯器の蒸気に手を置いており、やけどした。

(2) 10カ月の男児がキッチンの床に置いて沸かしていた電気ポットの蒸気口に手をあててしまいやけどを負った。

(3) 寝室にある高温の蒸気が出る加湿器の電源を入れた。ドアを開けていたところ、9カ月の女児が寝室に入り加湿器の蒸気口に手を突っ込んでやけどした。

<アドバイス>

1、乳幼児の手の届かないところで使用しましょう!!!

(家電から出る蒸気は100度近くあり、少し触れただけでもやけどをする恐れがあります)



2、家電を置くときは転倒、落下防止対策をしましょう!!!

(乳幼児がぶつかったり、電源コードを引っ張ったりして、家電を転倒、落下させたためにやけどを負うこともあります)

3、家電の中には高温蒸気への対策機能を表示したものがあります。

(「蒸気レス」「蒸気カット」「蒸気セーブ」など表示に注目しましょう)



4、蒸気によるやけどを防止するため、高温蒸気への対策機能が表示された家電の購入を検討しましょう!!!

(国民生活センターの調査では対策機能を表示したものは、表示していないものに比べて、蒸気口付近の温度に明確な差がありました)

1つでも心当たりがあったら、
お住いの地域の消費者センター（相談窓口）もしくは消費者ホットライン188へ電話!!